

平成30年5月14日
総務省
(一財)自治体国際化協会

第12回自治体国際交流表彰

自治体国際交流表彰(総務大臣賞)は、日本と外国の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的としています。

このたび、次のとおり受賞団体が決定しましたので、お知らせいたします。

総務大臣賞受賞団体

- ・ ぶんきょうく 文京区 (東京都)
- ・ はまだし 浜田市 (島根県)
- ・ たかまつし 高松市 (香川県)

- (添付資料) 資料1 第12回自治体国際交流表彰 受賞団体の取組概要
資料2 第12回自治体国際交流表彰 概要

(連絡先)

総務省自治行政局国際室 鈴木補佐、豊田、立川

電話 : 03-5253-5527 (直通)

FAX : 03-5253-5530

E-mail : kokusai@soumu.go.jp

(一財)自治体国際化協会交流親善課 谷村課長、白井

電話 : 03-5213-1723 (直通)

FAX : 03-5213-1742

E-mail : shimai@clair.or.jp

第 1 2 回自治体国際交流表彰 受賞団体の取組概要

ぶんきょうく
・ 文京区（東京都）

交流先	カイザースラウテルン市（ドイツ連邦共和国）
姉妹都市提携年月日	1988年3月28日
取組概要	<p>中高生のホームステイ生徒の交換や公式訪問団の派遣・受入れを1983年から実施している。また、区内の公園にはカイザースラウテルン市出身の彫刻家が作成した作品を設置するとともに、カイザースラウテルン市にも日本庭園を設置し、両市の市民間で文化や芸術の共有を行っている。</p> <p>さらに、2011年の東日本大震災の際には、文京区が仲介となり、カイザースラウテルン市が被災地へ寄付を実施した。また、2016年にカイザースラウテルン市で難民支援が大きな問題となった際には、難民支援のための寄付金の募集を文京区が実施するなど、双方向での取組を継続的に実施している。</p>

はまだし
・ 浜田市（島根県）

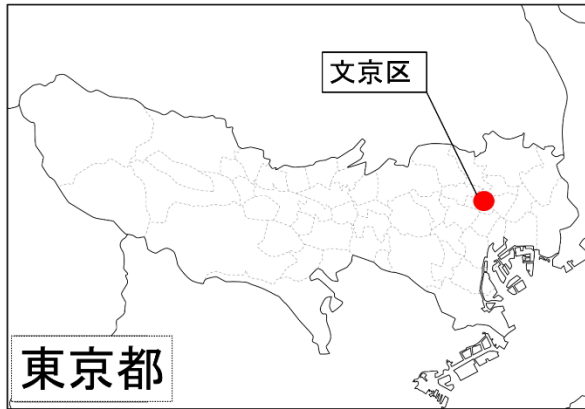
交流先	タシヤンツェ県及び西ブータン地域（ブータン王国）
姉妹都市提携年月日	1994年4月16日
取組概要	<p>ブータン王国の要請に基づき、1986年から浜田市の伝統工芸である「石州半紙」に係る技術支援を通じて交流が始まり、ブータン人技術者の所得向上や若者の就業機会の拡大に貢献している。</p> <p>また、2013年からは、市内の美術館で毎年開催されている展覧会にブータン王国の児童生徒が描いた作品を展示するとともに、2015年以降、ブータン王国の小・中学生を対象とした美術教育支援や両国の生徒間での交流を行うなど、ブータン王国と唯一正式に交流提携を結び、その交流を継続している。</p>

たかまつし
・ 高松市（香川県）

交流先	トゥール市（フランス共和国）
姉妹都市提携年月日	1988年6月3日
取組概要	<p>1988年の姉妹都市提携以来、職員や公式訪問団の相互派遣のほか、近年では親善研修生を派遣するなど人的交流を継続的に実施している。</p> <p>特に2009年からは、トゥール市からチーズ職人を招いて小学生を対象に食育講習会を実施するなど食育の分野での交流を開始するとともに、2016年には「史跡高松城跡玉藻公園、ヴィランドリー城、トゥール市3庭園連携協定」を締結し、両市でイベントを開催するなど、人的交流から教育・経済・文化などの分野へと交流を拡大し、市民レベルでも交流の輪を広げている。</p>

(参考) 各市町の位置

ぶんきょうく
○文京区 (東京都)



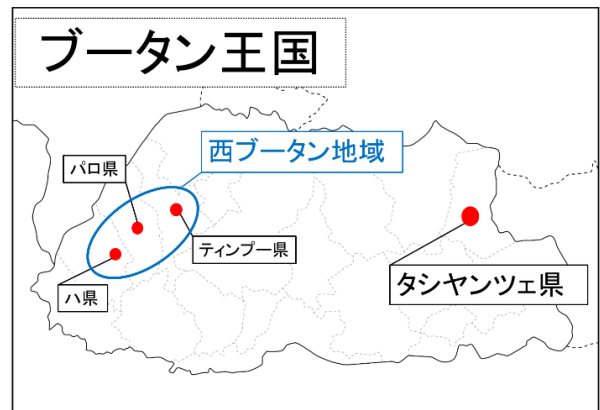
○カイザースラウテルン市 (ドイツ連邦共和国)



はまだし
○浜田市 (島根県)



○タシヤンツェ県及び西ブータン地域 (ブータン王国)



たかまつし
○高松市 (香川県)



○トゥール市 (フランス共和国)



第 1 2 回自治体国際交流表彰 概要

1 主催

総務省、(一財)自治体国際化協会

2 表彰団体

日本の自治体と外国の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県及び市区町村
- (2) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

3 賞の種類及び表彰団体数

総務大臣賞 3 団体以内

4 審査基準

次の(1)～(6)の各項目を基準とする。

- | | |
|-------------|--|
| (1) 先進性 | 他の模範となる先進的な取組 等 |
| (2) 独自性 | 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等 |
| (3) 継続性 | 活動の継続、効果や実績の定着、(実績は少なくとも)今後の活動の継続性・発展性が期待できる取組 等 |
| (4) 活発性 | 活動内容の充実の度合い、頻度 等 |
| (5) 協働性・連携性 | 住民や企業との協働、連携 等 |
| (6) 効果 | 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等 |

5 選考方法

応募のあった団体及び、他団体から推薦のあった団体について、有識者等で構成する審査委員会(別紙)の審査を経て、総務省と(一財)自治体国際化協会が決定する。

第12回自治体国際交流表彰 審査委員会委員

平成29年12月1日現在

委員長	ナカムラ アキラ 中邨 章	明治大学 名誉教授
委員長代理	エノキダ カツトシ 榎田 勝利	愛知淑徳大学 名誉教授
委員	アリタ ミチヨ 有田 典代	国際文化交流協会 事務局長 特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会 理事
委員	マツザキ シゲル 松崎 茂	公益財団法人 全国市町村研修財団全国市町村国 際文化研修所 学長
委員	クニ ヨシコ 久邇 良子	東京学芸大学教育学部 教授
委員	ヨウ イ 孔 怡	株式会社天怡 代表取締役
委員	メンジュ トシヒロ 毛受 敏浩	公益財団法人 日本国際交流センター 執行理事
委員	カザハヤ マサタカ 風早 正毅	総務省自治行政局国際室 室長
委員	サエグサ ケンジ 三枝 健二	一般財団法人 自治体国際化協会 理事